

## 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の策定について

コンコルディア・フィナンシャルグループの東日本銀行（代表取締役頭取 大石 慶之）は、目指す姿である「中小企業のトータルパートナー」として、お客さまへの高度なソリューションの提供と持続的な企業価値の向上を実現するため、人財の多様性を尊重し、公平な機会を提供することで、多様な人財の活躍を実現していく DE&I（ダイバーシティ、エクイティ&インクルージョン）の取り組みを推進しております。それぞれの人財が多様な知識や経験を発揮することで、役職員全員がやりがいや働きがいを感じながら、生き生きと活躍する組織となることを目指しております。

このような考え方のもと、次の通り「女性活躍推進法」に基づく一般事業主行動計画を策定し、取り組みを一層推し進めてまいります。

### 1. 計画期間

令和6年4月1日(令和6年度)～ 令和8年3月31日(令和7年度)

### 2. 目標数値

#### ① 女性労働者に対する職業生活に関する機会の提供

項目	目標数値
新卒採用に占める女性採用割合	30%以上
管理役職者に占める女性割合	15%以上

#### ② 職業生活と家庭生活との両立に資する雇用環境の整備

項目	目標数値
男性の育児休業取得率	90%以上

### 3. 取組内容

#### A. 多様な人財を幅広く採用するための取り組み強化

- ・ 当行で活躍する女性行員に関する情報発信の強化
- ・ 多様な人財との接点拡大

#### B. 女性のキャリア形成支援、意識醸成への取り組み強化

- ・ 女性行員への早期のキャリア開発と意識醸成
- ・ キャリア支援を目的とした研修の実施

#### C. 職場と家庭の両立の更なる向上のための職場環境整備

- ・ 職場と家庭の両立支援制度の周知、情報発信
- ・ 組織全体の働き方・休み方等の意識改革